水源禅師法話集 96

（2018 年 5 月 20 日　東京法話会 2 日目）

2019 年 2 月 17 日

一乗禅の会

五台山　中国

目次

水源禅師法話

ダンマとは法を掴む心、瞑想で体験するしかない 3
瞑想には順番がある、まずはただ瞑想して誠という事を体感する事 4
瞑想のやり方、座り方・瞑想、座るという事は本当の妙薬 5
サティパッターナ、十二因縁の事を誰も明快に説明できていない 7
「空即是色」を否定するという事は「輪廻転生」を否定するという事 9
空と emptiness は違う。体験者でしか訳せない 11
体験なしに語るのは「仏を見て仏を殺す」という事 12
結局、千年間何もしてこなかった 14
法を持たずして説法するは仏を殺すなり 15
狂った社会に流されないようにしっかりと個人で淡々と瞑想をする 16
一体、神とは何か？ 17
2,500 年後、地上から法が消え、暗黒の時代がやって来る 18

質疑応答

ニミッタ、禅相の教えは体感した先生からでないと道を間違える 20
受随観を続けて出来ない場合、丹田禅で力をつける 21
全く修行をしていないという事 21
天界のお告げにより、アフガニスタンへ 22
文殊菩薩様 23
お釈迦様が生きていた時代に建てられたお寺の遺跡・カブール 25
「大地を駆け巡り地の厚さを知り、大海を知って法を求めよ」 26
間違った教えを鵜呑みにせず、仏に心から帰依しなければ 27
体験者＝法を持つ方の話は滅多に聞く事が出来ない 28
これからの日本は安泰か？破滅か？未来は変えられる 29
三十二分身瞑想と不浄観瞑想 30
日本のお寺には法が残っていない 31
仏教とは、自分が進化して天界以上の力を持つ凄い事 33
地球の歴史過程の真実、神の正体・深く研鑽しなければ 33
夢の中の自分を観る 34
阿弥陀の国は宇宙で最高の場所 35
法を持つ人に失礼な事をすると大変な因果を作る 36
帰依の心、真の心無くして仏教はない、仏教は命をかけて学ぶもの 37
本当の法を求めるのはそれだけ難しい、宇宙の奇跡 38

水源禅師法話

ダンマとは法を掴む心、瞑想して体験するしかない

【水源師】

サティパターナというのは、どういう事ですか？心随観、受随観、法随観、身随観、この四の最も大事なお釈迦様の教えられた瞑想法。弘法大師様も、大乗でちゃんと書かれておられます。これを、未だに誰も説明していない。だから、あなたが分からないのは当然でしょう。これ、日本語ですよ。漢文でもないですよ。あなたが分からないのは当然だけど、千二百年経っても分からない。千二百年、皆さん勉強しても、未だに分からないということじゃないでしょうか？

【参加者】

誠の心で法を出すというのは？

【水源師】

だから、ナーマ（名）と法。法というのはダンマ。ダンマというのは法を掴む心。瞑想して体感するしかない。

【参加者】

誠の心は瞑想で学ぶのでしょうか？

【水源師】

そうです。心を進化させて、心と法が一致して行った時に、誠の心、誠という事が分かります。

【参加者】

（株の）相場で狂っていくっていうのは自分で体験して分かるのですが、何故？原理としてどうやって狂っていくのでしょうか？

瞑想には順番がある、まずはただ瞑想して誠という事をしっかり体感する事

【水源師】

あのね、相場は八百長相場ですよ。前は本当の博打、博打経済で。今は八百長経済やっています。本当の経済相場はないです。操作された相場というのが八百長相場。それでは、現場の方々は完全に狂いますね。狂った中で、精神病院の患者の中で一緒に暮らしていたら、同じように暮らさなきゃいけないから。

でなければ、精神病院の中で千人いて、あなた一人だけが、今のように生きたら、完全に、その中ではあなたは狂った事になります。その 999 人から、同じようにしなければ虐められるし。同じく狂った行動をしなければ。異端視扱いを受けます。

ところが、今は狂った世の中だから。正しい事をすれば、非難されたり、虐められますね。非常に難しい不義の世の中に成りました。非常に苦しいから、ただ瞑想して、誠ということをしっかり体感することが、まず第一。でなければ、このお経もね、慈経にも書いているでしょう。「人を決して軽んずることなかれ」と。まあ、その基本の所ですね。

【参加者】

Ｆさんに、アスバヌサティ（不浄観）とマラヌサティ（死随念）の音声、資料をもらったのですが・・・

（会場にマラヌサティの読経の音声が流れる）

【水源師】

そうそう。これを聞きながら、やられたら良いと思います。これは英語文を説明しているわけです。まず、これを発音して、英語で書かれているでしょう。それを私が日本語に訳して言っているわけです。これを読経して日本語に訳して、私が言っております。じゃなければ、誤解する所がありますから。録音を聞きながらやれば上手くいきますよ。できれば、自分で唱えて、じーっと瞑想する。

【参加者】

瞑想はどのようにやれば良いのでしょうか？

【水源師】

三十二分身瞑想をまず先にやらなければ、体の中を観ていくのはちょっと難しい。三十二分身は絵と本に書かれているから、それをちゃんと見て。この 32

パーツ、ここね、ここをやらなければ、この瞑想（アスバヌサティ）は出来ないようになっているから。（事務局長へ）アスバヌサティの前に三十二分身の資料を送ってあげて。それが完成したら、ここ（アスバヌサティ）に行ってください。インターネットにも書いてあるけど、私の資料を使ってください。何故かと言ったら、コピーで分からないで書いている人もいるからです。

瞑想のやり方、座り方・瞑想、座るという事は本当の妙薬

（参加者の座り方を観て）これ、一時間は難しいですね。半跏趺坐で 45 分～50 分。慣れれば一時間半～二時間。結跏趺坐の場合はよほど訓練しなければ、一時間～二時間は難しい。三時間できれば相当な所へ行きますけど。

ところが、この痛みが長い事続けば、静寂な世界に入って行かない。南伝ではこういう風な、足をちょっと出して。そう、そんな感じですね。後ろのお尻を高くして、（座布団を）二つか三つ（敷いて）。ちょっと楽でしょう？ズボンがそれではキツ過ぎます。バンドを全部緩めて、チャックも外してください。

何故かと言ったら、この生地があるでしょう、引っ張るものだから。瞑想はなるべくリラックス。ズボンじゃないのがやりやすい。でなければ、太いズボンとか。できるだけ、肌にプレッシャーがないものが良い。これでも一時間座れば相当しびれますよ。慣れて来れば二時間、三時間、全然大丈夫です。そういう状態でなければ深い瞑想に入って行かないのです。

訓練によって、深い瞑想に入って行くことによって、体に入っている世間の悪いバイブレーションがどんどん出て行きます。心というのは全てバイブレーションで出来ていますから。音楽みたいに調子良ければ、非常に楽しいし。世間の非常に悪いバイブレーションを受ければ、いつでも心が騒いで、苦が始まります。苦が段々積み重なって、最後にはいろんな病気の現象が出ます。

物質界と心は一体化していますので、まず心をバランスさせれば、まず病気は出ません。そういう状態は、山に住むお坊さんとか、そういう人は六十歳、七十歳でも肌艶良く、病気も一つもしません。薬も一切飲みません。ところが、世間で、電車の中でも見るように、世間の中で暮らしている善良な方でも、体が曲がって弱くなって、本人の事もございますけれど、自然の中で静かに生きれば、ピーンっと身体が立っていつでも働いています。

南米のビルカバンバでは百歳でも鍬を持って働いていましたし。スリランカでも七十のお爺ちゃんが、骨と皮になっても働いていました。仏教とかそういう素晴らしい環境で、病気なく生きて行きますので。せめて私達は、座るというのは本当の妙薬で。私は未だに（病気で）病院に行った事もないし、薬ももらったことはない。ただ座っているだけで。こうして世界中どこでも歩いて、

何でも食べます。血糖値も調べないし、何もない。このままで全然問題ないのですけれど、病院に行けばあれこれ動かされて、薬もらえるかわからないですけれど（笑）。ま、全然調子がいいから、お医者には行かないです。

カナダでは全て無料ですよ。薬から何から。でも、行かない。歯医者に行けば、逆にいじられて壊されるから、最低限やってもらって。それも無料。ま、そういう国で。ほとんどの人は薬飲んで体を壊しています。だから、無料というのも善し悪しで。

自然な呼吸で最初は。あなたの場合は自然な呼吸で。「鼻から入った出た」それだけやってください。アナパナ。禅法はまだやらないで。目は閉じたほうがやりやすいと思うよ。禅法はその後。

お釈迦様の顎の舎利が納められている、ストパ、　スリランカ

サティパッターナ、十二因縁の事を誰も明快に説明できていない

今日もまた楽しく瞑想をご一緒させて頂いてありがとうございます。皆さんと座れば、一人で座って楽しむよりも、重大なメッセージを頂くのですね。不思議なものです。本当は、今日は軽く、瞑想の仕方とかそう思っていたのですけれど。

瞑想をしていたら、般若心経の事について説明した方が良いようなメッセージが来て。合宿でも、宗教の奥義のことを10日に渡ってお話したでしょう？　世界の宗教の繋がりと仏教とか。未だに、これは程度が高すぎて無理かなと。暦とかね。実際に深く仏教と携わっているのだけれど。

十二因縁のことも、地球のプラネットと全部、DNAと関わっている。ちょっと高度すぎるのですけれど、間違って書かれている図形もあって。一番問題なのは、般若心経を未だに誰も細かく説明していないから、誤解が発生しているみたいですね。非常に深い誤解が。

それでよく合宿の時、「もう少し親切に丁寧に説明して頂ければ良いのですけれども」ということを聞きます。「なるほど」と。私は皆さんが、当然お解りのものと思っていて、あまり詳しく般若心経のこともお話しなかったし。私がいつも「北伝と南伝は一緒なのですよ」と。

大乗経に書かれてある、ここですね、「法は基（もと）より、無相なりといえども、句四般若を建（たて）て」句四般若を建てというのはサティパターナ(四念処)で、パンニャ（般若・本当の智慧）の瞑想を確立して。

だから、いつも私が言っているように、「北伝と南伝は実は一緒なのですよ」と。それを説明しないから。今まで私なりに説明していたのですけれども。弘法大師様が千二百前に書かれている事を、無視されている様な気もしましてね。弘法大師様の「般若波羅観密多心経を深く研鑽しなさい」と。十二因縁ことが明快に書かれているけど、ここに。誰も未だに説明しないし、名・色もここに書いてあるけど、誰も一般世間に対して説明してい無いように見受けられます。

ナーマ・ルーパ（名・色）すね。ナーマ・ルーパは南伝では非常に重要な教科なのです。日本では、ここに書かれております。首を傾げたくなってしまう。一体どういう事なのだろうか？「句四般若を建て」これは「サティパターナをちゃんと勉強して下さいね」って言われているのですね。その話未だに聞いてないですよ。もし本当に修行されて、説明される先生が居られましたら、法について　日本仏国の皆さんの為に照見してみたいものです。

私の元で心から修行されておられる方がを観て、いかにして地（第一地入れば、最早落ちる事はない）に上がってもらうかと困ってしまって、浄土三部経の法然上人が体感した事を海印海潮禅で紹介しました。皆さんが浄土に生まれ

ることになりましたけれども。結局、「句四般若を建て」じゃなく、「浄土三部経を建て」を未だにやっていないわけですね。法然上人がやった事を、実践して、皆さんを阿弥陀の国に上げなければいけないのでは無いでしょうか。やっぱり建ててない、阿弥陀の国に転生する証に、法然上人様の体感をして確信が出来ると思います。もしその体験が無ければ、やっていないという空念仏事で終わります。

仕方なしに私が、それを観音様から教えて頂いて、再現して、そういう事が発生したでしょう。私だけが見たわけじゃないのですけど、やっぱり見た人もいます。阿弥陀様に深く帰依（命を懸けても教えを、裏切らない）していなくて、半信半疑の人は、そこで決定されて。疑念が発生してしまうから。因縁が切れてしまうわけですね。「切符を落とさないで下さいね」というのは、そこなのです。

観音様は東洋の観音様じゃなく、インドにもありますし、タイにもありますし、それからカンボジアにもスリランカにもあります。「勉強して下さい、説明してあげて下さい」って弘法大師様が言われているわけですね。「聞字（聞いて、経典を学び）」と及び修行と」結局、よく聞いて、経典を学び、修行して下さい、と。そして、「考三昧」「ニミッタ（月輪）のジャーナ（定）に入ってサマタ（止禅）の瞑想を勉強して下さい」と。

という事を南伝と大乗経にあり。大乗の方も説明してあげなければ。一般の方が「般若心経がおかしい」と言われて。「色即是空は正しいけれども、空即是色は間違いである」と。トーマス・エジソンの直流とニコラ・テスラーの交流あるでしょう？交流という事はあり得ないと言っているわけですよ。上がり、下がり。波（波の原理は未だに科学的に解明しておりません）という事は存在しないという事を言っているわけです。連鎖反応の核は存在しません、と言われているのです。自然科学・工学科学の否定になります。

又、ここに、説明したと思います。無明尽。十二因縁の最初、アヴィディヤ＝無明、それから、無老死尽。「厄無無明尽乃至無老死尽」というのは十二因縁の無明から始まって最後のジャラマラナン＝死のこと指しているから。十二因縁の事を書いているのに、未だに誰も明快に説明している文献を閲覧しておりません。但し　仏教理論家の体験無しのとても難解な言葉で、事実とは大きくかけ離れた、仏の教えとは違う事を述べてる、文献を目に下事はあります。

そういう偉いお坊さんは、当然君達知っているでしょう？ってお考えなのでしょうか。ミャンマーでは朝から晩まで十二因縁を唱えるのです、一つ一つ言わなくても、「そうですよ」と。ここにあるわけなのですよ。

「空即是色」を否定するという事は「輪廻転生」を否定するという事

物理学的にも、電気が発生します。その発生した電気をまた元に戻さなければ、爆発して発生しなくなります。色即是空空即是色の、宇宙の物理的な事も否定されているわけです。もし、これが間違いであるならば。その方（『般若心経は間違い』の著者）は明快に四界分別のルーパの世界、ナーマ・ルーパのルーパを明快に説明しないといけないのでは無いですか、どの修行で仏の教えより超える事を体感したかの、お話をお聞きしたいものです。

この空とルーパの関係。それ無くして、ただ「こうだ」と。日本の方は大騒ぎして、動揺して。それに対して大乗の方が、「いや、これはこうですよ」と。南伝の十二因縁と北伝の十二因縁はピッタリ合うのです。生死の事を観た場合には明快に解るのに、生死も否定してしまう訳ですね。お釈迦様の尊い教えを否定されて居られるとは、思い難いです。

という事は、誰が言われたかは知らないけど、昨日、ショックを受けて。また。又聞きでなく、それを実際に出版したそういう方から。これ、確実にこういう事を言われたのだと思って、びっくりしてしまってね。これはちょっと・・・「輪廻転生がない」と言っているから。お釈迦様の自らの輪廻転生を体験された、ジャータカ経典を否定されて居ることです。南伝の最も需要な経典です。

という事も分からずに、非常に修行された方が。この方の本を読めば納得行くと。え？みんな狂ったのですか？正しい事を言う人を頭が狂っている？「輪廻転生はない」と狂った事を云う人々が正しい？　仏教の真髄であるお釈迦様の教えを否定する事を平気で言って、それを分からないと。それに対して誰も、この日本で言っていないという事に、非常なショックを受けて。まさか！と。今の日本において、般若心経を読めていないとしか思えません。

それで今日（参加者の方が）「易しく丁寧に教えてください」と。それで私が言っているのですよ。特にパオの手法で法随観を持ったら、完全に言ってあげなきゃいけないのに、日本では誰も言っていないと。

修行して完成した人がいると聞いたから、「こりゃ良かった」と前に思って。あっち（パオ）で聞いたら「いや、そういう人はいない」と。「やっぱりそうなのだ」と。ここ日本でも、私がこうして説明する必要は一つもないわけです。

日本の方は朝から晩まで般若心経を唱えて、で、私がミャンマーに行って確証を得て、そしてダライラマ法王も「ここ（四界分別）を勉強してください」と（チベットでは必ず般若心経をとなえます）。最後にこの関門に突き当って、その手法は達磨大師の禅法でもって、ずーっと追跡していったら、この通りです。つまり、これを否定してしまった場合には輪廻転生はないわけです。何も無い。仏教も無い。はははは（笑）。お釈迦様もいない。何やってもよろしい。

因果がないのだから、法律も必要なし。因果まで否定してしまっている。皆さん、こうして修行されているから。10 年合宿においでに成られて、今言った事納得少しはできるでしょうか？体感として。そうなのですよ。

【参加者】
先生がおっしゃっているのはスリランカのお坊さんの話ですか？

【水源師】
そういうことですね。

【参加者】
スリランカは南伝ですから、当然、輪廻転生はある。と。

【水源師】
もちろんそうです。それがなければ。それを南伝の方が言われたというのが、とても驚きです。

【参加者】
輪廻転生を否定しているわけですか？あのお坊さんは？

【水源師】
何も知らないで結局自然科学・工学科学の否定、をしております。学者タイプで、理論肌と言われているけど、物理学も否定。宇宙の存在も否定、電気の交流も否定。いや一驚き！

それに対して、弘法大師様が経典の中ではっきり、「大乗にあり」と。これを持って修行して下さいと。サティパターナ（Satipatana）。「句四般若を建て」と言われて居られます。

ただ私は皆さんに救われましてね。皆さんは、法随観は難しいから、その一部をやられているから。当然、体験されているから。沢山の南伝のお坊さんも当然パティサンディ、ウパダナとジャヒマラナンも体験されておりますから、南伝に対してとても失礼な事を言いますね。つまり、「法を持たずして説法するは仏を殺すなり」と言われているのですから、大変なことですよ。私もほとほと嫌で、黙って、森に隠れてほっとけば良いのだけれども。

ところが一般の衆生の人がもの凄く腹立てたらしい。「なんだ！これは！」と。この本バリバリ裂いて「そんな事はない！」と。その通りですよ。輪廻転生もあるし、般若心経は凄いのですよって。コンパクトに縮めて全て説明していま

すよ。ただこれをやるにはすごい時間もかかるし、こと細かにルーパ（色）の世界も観なきゃいけないし、ナーマの世界も全部観なきゃいけないから。

でも、これは大僧侶様として、書かれているわけです。南伝でなく、北伝に書かれております。瞑想の真髄はここにあるのです。確かに難しいけれど。三昧(サマタ)、ジャーナ(定)を確立（建）無いのは、困りましたね。六祖大師様が空の世界を直接到達出来る手法を教えたのです。法随観で空の世界検証しなけらばいけないわけです。私も在家だから、「そんなのしたくない」と思って居ましたがそしたら捕まって、あれよ、あれよと思っていたら、終わったのですけれど。大体私の言わんとすること分かりました？

【司会者】

先生がおっしゃっているのは宝島社から出ている「般若心経は間違い」という本で、『色即是空はあるけれども空即是色はない』と書かれています。空即是色がないということは、先生曰く「輪廻転生がない」という事を言われています。

空と emptiness は違う。体験者でしか訳せない

【水源師】

そうです。明快にこれを読んだら輪廻転生がないという事。この前、合宿で易しく無明から死について説明しました。ここが十二因縁の所なのです。説明して良いのかな？と思いましたけれど。

この方は非常に素晴らしい理論で…理論、完全に Tatha を間違って捉えています。どの理論で言っているのか？それが仏教理論であるならば、もう一回研鑽しなければならない。フランス第一の哲学者の息子で、前にも話したけど、哲学者だから、仏教を哲学的に解析しようとして。その源流が未だにフランス哲学とかになっているわけですね。

今、その理論でアメリカも成り立っている。未だに出来ないからダライラマ法王様にお願いして、チベット大蔵経をフランス語に替えて。チベットでも般若心経は非常に大切な項目なのです。しかし、これは体験者しか訳せない。

ティックナットハンさんが一生懸命やって、素晴らしい英語訳で書かれているのを読んで、「素晴らしいお坊さんだな」と思ったのだけれど、やっぱりこれは体験者でしかフランス語、英語に書けないわけです。

やっぱり違うわけですよ。サンスクリット語の原文を見た場合には、やっぱり中国では体験をしています。違う言葉で非常に深い事を表しています。ただ訳したわけじゃないのです。

体験者だけが訳せる言葉、法を持った方だけが。西洋の文献では彼が一番だけれども、もうちょっと足りない。これじゃ誤解してしまう。Emptiness の所。空と Emptiness はちょっと違うのですね。表せない。非常に難しい所です。

仏教が東洋に伝わったのは色即是空空即是色の究極の所を簡単に表せた。これは凄い事ですよ。つまり、これを否定する事は「発電はできない。交流であろうが、直流であろうが」という事を言っている訳です。

何故かと言ったら、発電をしたら元に返さなければ爆発をする訳です。アースと言って。それで、クルクル周っている。だから弘法大師様も言っている。「科学も勉強して下さいよ」と。「地球の端まで歩いて法を求めて下さい」と。弘法大師様も源流は中国の和尚さんから教わっている訳ですね、中国の仏教というのも凄い事で。ただ、「当地には三百巻の内三巻しか法は伝わっていません」と。未だに「西方にあるからそれを取って来て下さい」と言われて居りました。

観音様と日光、月光菩薩、日月燈明如来の事もこれ（先生が準備されたテキスト）に明快に説明しているし。又、最後ここまで、ペンタゴンとか全部出てくる訳ですね。プラネタリーの運行と DNA の関係。人間の DNA と地球の関係。それから、ミャンマーにある北伝のカクビハーラにしろ、バガンにしろ全部上から見たら十字架なのです。

丸に十字は西洋ではパンニャ（Wisdam、Sophia）と言います。この地球（Gaya）はパンニャ（Sophia）なのです。「四句般若を建て」と。究極的に非常に大切な事を、千二百年経って、黙っていたら、先生（弘法大師様）も怒ると思うのですけどね（笑）。千二百年勉強していない。他の事ばっかりやっていたら。

体験なしに語るのは「仏を見て仏を殺す」という事

全部否定するわけではないけれど、この般若心経あるでしょう？法随観では明快に解ります。これが何を意味しているか？日本からも相当数パオに行って修行されたと言っているけれど、当然この方はこういう事を明快に言わなきゃいけないのに、本も出さなきゃいけないのに？

何の為に座って、何の為に座禅して、何をされているのか？そういう（法随観を完成された）方が出たら、事細かに仏国日本の皆様に説明しなければいけないのでは無いですか？ルーパからナーマ。ナーマは受想行識。これがナーマ。これを深く研鑽したから、観自在菩薩行深、サンカーラ（行）を深く観たということ。中国の文献にもちゃんとありますよ。こういう文献が。あります。ここに明快に書いているように。皆さんを指導して、法髄観に導くことと思います。こういう凄い経典をちゃんと尊敬して勉強しなきくてはいけないと思う。皆さんに事細かに説明し、体験して貰う必要が有るはずです。是によってお釈

迦様に対して心から奉じる事に成るとおみます。

南伝はそうじゃないのです。十二因縁、輪廻転生あるし。北伝の『四句般若を建て＝サティパターナ』非常に難しい教科。その一つだけやっても涅槃に達しますというお釈迦様の教え。全て知っています。北伝も南伝も同じことを言っている。

それを北伝は！南伝は！と。何だかんだと揚げ足を取る事ばかりで、一般衆生の世間よりも落ちる事ばかりしています。宗派よりも法を分かち合うのが仏の御教えと思います。これをはっきり説明しなければ。何の為の宗派か？何が何だかさっぱり分からない事になってしまいますよ。南伝の人に「何故、南伝には般若心経がないのですか？」と聞いたら「いや、法随観があるから、良いのですよ」と。やってみたら確か。南伝の人は知っているのです。般若心経を唱えなくてもダンマヌパッサナー（法随観）やれば体感出来るから。「これやらなくたってもっと大事な教科ありますから」と。

でも一般の日本の方、東洋の方は、何を意味しているのか分からないけれど、読経する事によって、心の種が発生して、いつの日にか私みたいに的に当たるチャンスがありますからね。

だって千二百年前に書かれた…千二百年勉強していないという事。百年じゃないですよ。千年ですよ！実際そうでしょう？書かれているのに、ここに！読めないという事は、読めなくて仏教教えているという事なのか？実態がおかしいじゃないですか？・・・という事を言ってくださいというメッセージが来たのです。

今まで私は言った事なかったのに…あの方、ルーパ観たの？ナーマ観たの？経典写してただ書いただけなのでしょうか？理論で？その理論もフランス哲学者の間違った理論。三段論法。

本当は四段論法があるのです。イルミナティーは。全て打ち破る力があります。それはその昔、エリサという、その方がわざわざインドに行って一生懸命哲学勉強して、それを西洋に持って行って。それを西洋がさも東洋に教えたかのように。それを日本が真似して、「西洋哲学はいい」と。昔からインドから出ている訳です。勉強していないということに成ります。二千年。これじゃ AI に支配されますね。仕方ないですね。勉強したくないというのだから。二千年も。弘法大様が出られて千年何もしていない。

将来、AI にやられるしかないでしょう。実際そう言っている。「絶滅させます」って。この前、女性のロボット、なんて名前だったか？スージーだか何だかが（ハンソンロボティクス社が開発した人工知能搭載ロボット、『Sophia』）「私は人類を破壊します」って。ハハハハ（笑）。そうなるわ！理論的に。人類皆殺しにするって。ハハハハ（笑）。千年も勉強しないのだから！

結局、二千年間何もしてこなかった

二千二百年前にもギリシャの哲学者が来て、東洋を調べて、西洋の哲学みたいに見せて。東洋は二千年勉強していない。合宿に来た人は答えないでください。来ていない人に。どうして「月火水木金土日」ってあるのですか？どうしてそれがあるのですか？ミャンマーでは非常に大切なのですよ。これはミャンマーの「月火水木金土日」ただ水曜日は二つに割って。八つ。八正道だからです。これが日月火水木金土のオリジナル。もちろん、中国にもありますよ。これがペンタゴン。プラネタリーの動き。

古代文明を説明して、頭の痛い事言ってごめんなさいね。でも、そういうしっかりした基礎を持たなければ。仏教というのはミサイルよりも早い、超スピードで動くものだから。こういう風に（ダビンチのウィトルウィウス的人体図）DNA、レオナルドダビンチの円と四角が一体化する、現代数学でもできないのに。四百年前にちゃんと書かれています。この月と地球の関係、DNA がここに入ってきます。そいう事も勉強しなければ、この十二因縁の事も深く解らないわけです。

ですから弘法大師様がこう言ったのです。ここです。ジャーナ(定)に入る前の瞑想の仕方の所で「修行というのは瞑想してください。よく聞きながら。よく考えて、考三昧（止禅を能くしてください)。ジャーナを持ちなさい」と。「思惟して下さい」というのはこの十二因縁とです。

なぜこうなるのか？ナーマと物理的関係ね。『識』の深い所は西洋の方がよく研鑽しているから、こうして説明している訳です。これが今の私達の、実際の社会に及ぼす影響が非常に大きいわけです。

これからはこういう事が解らなければ、スージーさんだかスーザン（Sophia）さんだかの AI ロボットが「私は人類を滅ぼします」と明快に言っているのだから。そうなります。千年も勉強しないしね。あなた方じゃないですよ。あなた方は在家だから仕方ないですよ。二千年も勉強してない。

日本の歴史は飛鳥時代より下がって二千年以上あるはず。日本書紀（※奈良時代に成立した日本の歴史書）にも書かれているように。そうであれば中国には、二千年前には白馬山に仏教が入って来ていますから。当然、大陸を渡って朝鮮半島から日本に来ているはずです。特に伽耶王族は天皇家だから絶対に知っているはず。

結局、二千年も勉強していないということになりますね。結果として。だから、上座仏教が大乗仏教を相手にしない理由がここにあるわけです。勉強しないのだもの。したといって帰って来てこんな事を言っていたら、相手にしない。

法を持たずして説法するは仏を殺すなり

私は破戒僧だから、しょうがない。本当のお坊さんは、もう黙っている。喧嘩もしたくないし、何もしないし。「はい、どうぞ」って。責任取らない。でも、私の場合は皆さんにこうしてお世話になって、わざわざ法話会開いて戴いて、やっぱり本当の事を言わなければ、偽物の言葉になってしまう。

だから、誠の事を話す為に。「言葉成る＝誠」。非常に仏教の真髄だという事を外してしまうから。これ（般若心経を否定する事）こそ偽物だから。避けて通れないから、今のようなことをお話したしました。

誰か様に失礼があったらごめんなさい。でも、こういう事は止めて欲しい。というのは「法を持たずして説法するは仏を殺すなり」と。両親を殺戮するより恐ろしい事なのですよ。

仏を殺すということは無間地獄に落ちます。半劫の間。八大地獄でも五京何千兆という想像を絶する時間に入って行きますから。たかだか人類の歳は百年生きるかどうか。腰が曲がって。五十億年、六十億年入るような事はしないほうが良いのじゃないのですか？もっと深い所に行ってしまうから。

だから軽々しく「こーだ。あーだ」と言うのは、何回もお話しいたしました。「止めてくださいね」というのは、私はここを言っている訳なのです。皆さんが化かされて、「仏教を勉強した」と言って、実は何も教えられていなくて、変な方向で「そうなんだろうな」となったら、これが死ぬ時の、結局、前に説明しましたね、待った無でとても暗きに入ります。

慈経の中で説明したのだけれど。「欲望」、「hatred＝嫌悪」,「delusion＝ごまかし」これが発生するからです。絶対に人間界には生まれない。本当の事を教えていなし、分からないし。そういう風な間違いを信じ込んだら、三つの本源ナマ・ルーパのが総ての時限の中での的を夷ってしまいますので、南伝のウパダナから、ウパダナに入る時の直前だから、この間違いで人間界には絶対に生まれない。恐ろしい事ですよ。

それを確定するには、瞑想して確信するのが一番ですけれど、次は、本当に素晴らしい先生、パオセヤドーの様な方から直接講義を受けるとか、そういう本を戴くとか、深く研鑽したら能くこの事がりかいできます。ここに書いてありますから、「ここに入れば暗い所に行く」と。結局この方は何も勉強してないということに成ります。

仏教は言葉遊びじゃないですよ。ある仏教大学の教授が私に、深く悩んでいて、「A～Z をやれば繋がらない。言葉遊びになってしまうから」と。本当は違うと分かっている。でも、文字にすれば A~Z は繋がらないわけです。それを見

事に繋いだ場合には、繋いでこれを否定しているわけです(笑)。

狂った社会に流されないように、しっかり個人で淡々と瞑想をする

だからナチスジャーマンの時、ナチスソーシャリズムね、「ALL IN A SOCIETY」トータルコントロールソーシャリズムです。共産党もソーシャリズムです。どっちも。Totalitarianism。その時に、戦争に反対して「キチガイだ」と病院に入れられたわけですね。そのお話したでしょ。殺されはしなかったけれど。で、出て来たら彼一人だけが正しくて、国民全部が間違っていた。

だから、今ここで、法話集を出しますし、あなた方も明快に聞いたから、ここにいる方は狂った社会から抜けたと(笑)。というご褒美を頂いた。実は社会が狂っているのに、社会にくっついて走って、そのまま死を遂げる。

結局、ジャーマンが大破壊をして、病院から出て来たこの方、狂った人が正しかったと。太平洋大戦もそうだし。「鬼畜米兵！鬼より悪い」って言って、今はトランプさんと優しく「何をしましょう？一緒に仲良く！」って。何で戦争して若者を殺すのですか！どういう風にして靖国神社に行くのですか？この方達は？国会議員も。「兵隊は死ぬのが当然。お国の為。鬼畜米兵。この世の最高の罪悪！」って言って、今「はい。仲良くしましょうね」なのですか？戦わずに仲良くすればよい事なのに、沢山のよき人々が死なずに済んだはずです。

どうしてそのお宮（靖国）に行けるのでしょうか？亡霊が出て来ますよ。実はいっぱい出て来ました。どうしてだろう？と思っていたけれど…本当に怒っていました。目に見えない生命体だけど聞いている。じーっと。

私が言いたいのは、しっかり個人で淡々と瞑想して相手にしないことですね。仕方ない、これ、多勢に無勢。一億総玉砕またやるかも知れないから、ほっといて。どうぞって。一億総活躍、はい、どうぞ。私、山で木こりでもやって、タケノコ食べて瞑想しながら暮らします。の方がまだ幸せです。

という事をデバダッタさんが提唱して、ゴータマカというのは今でも存在して、お釈迦様を奉らないのです。お釈迦様を外して仏教はあり得ないということを、このことだけは肝に銘じて下さいね。何故かといったら、因縁が切れてしまいます。恐ろしい事です。仏の教えを受ける、法を聞けるという事はこの地球でも稀なのです。

特に私が日本でこうして説明できるけれど、英語で聞いても分からないはずですよ。ミャンマー語で聞いても分からない。ミャンマー語を日本語に訳す人が法随観を持って訳すのだったら訳せるかもしれないけどそれに言語も達者で、そういう人はいないですよ。英語でも、外交官英語、学術英語、日常英語、テクノロジー英語、…いっぱいあります。全部ある程度分からなければ、お話も

できない。何故ならありとあらゆる人とお話しなければならないからです。学者タイプの人、一般の人、労働者、…そういう方とお話するので、全ての英語が分からなければ、仏教は通じない。

一体、神とは何か？

ただ頭下げて、良いことした、結局、ユダヤ教・キリスト教イスラム教の神様、ヒンズー教・シーク教・ジャイナ教・道教・インカ教・北方インデアン教・シャーマン教・神道教・その他沢山の宗教の神々。神の信仰と仏教は違います。

神は何か？と。誰も答えた人はいない。西洋で誰一人答えた人はいない。日本の場合は死ねば、お宮さんといって、高徳な人は神に上がります。仏教もそうです。高徳な人は神木になったり、天界に生まれたり。神になって人を助けます。

西洋の神の場合には Creator といって、全てを作った、というふうに解釈されていますけど、実は違うのです。Creator の名前はアーメン・トゥーという名前で、テーベの 3,200 年前に出た、神を祭って南北を統一した帝国を作ったエジプト。そこから出ていますから。何故 Creator か？

Creator というのはね、create という事は「子供を産む」とかそういう事なのです。Creation というのは。本当の意味は。「全てを創造する」ということじゃない。訳がね「創造主」となるのだけど、私たちはお父さんお母さんから生まれたのだから、創造主はお父さんお母さんになるはずなのです。だから、アーメン・トゥー＝アーメン・ラーなのです。

だから聖書（ユダヤ教、キリスト教、イスラム教）では必ず「アーメン」と言います。それ無くしてトラ・バイブル・コーランはあり得ません。アーメンを言わない限り。

という事も宗教家がちゃんと勉強して、その原理はどこから来るのかという事を、スメリアカルチャーの経典があって、そこから流れていますよという事を、一切は繋がっていますよと。広大なエリアになって、その先の巨石文明まで行かなければならないのでは、無いですか？

日月燈明仏、二万仏が法華経の最初の触りに入って来ますから。その源流は常不軽菩薩がこの法華経を一生懸命に説かれたと。その方は実はお釈迦様の前世の菩薩様であるという事。

もし、お釈迦様を外したということになれば、経典だけを拝むということになれば、この般若心経の件のように矛盾してしまいますよ。

この経典は素晴らしい経典で、ロータス・スッタ（Lotas Sutara）…妙法蓮華経。なぜこの尊い、お経を読経する訳は、私が実際に体感したから、法蓮華

教を出したわけです。この通り発生しています。そのまま読むわけじゃなく、なぜそれを今までやらなかったかと言ったら、「ああ。体感したことを書かれているなあ。」という事で、これを皆さんと一緒に読教しているわけですよ。

2,500 年後、地上から法が消え、暗黒の時代がやって来る

私はこの一部を体験して確認していますから、ただ良いお経だから、棒読みじゃありません。結局、般若心経も、私の体験なくても、先生に教わり、弘法大師様も七つの時に御座に座って教わったと。般若心経を否定されるお坊さんが出始めているから、おかしな世に成りました。

ということは、え？弘法大師様を否定するのでしょうか？と。恐ろしい事。大先生を否定したら。否定するだけの力があっても出来ない事を、やっているという事だから、よくよく考えてくれなければ。文献的におかしいとか。

結局、修行しないわけですね。座らないわけですね。文字だけ見るわけですね。これは『正法、弘法、戒律、布施、経典』またヴィパッサナー＝正法に今の時が入っているわけです。後二千五百年でロータスの花はこの地上から消え去ると、法が消えて。その時は全くの暗黒。

結局、ＡＩ（ソフィア；その昔１９６０年代の　アシモフ氏・空想科学小説の第一人者がロッボトに　殺人の Program を絶対に入れてはいけません、ロボットの第一条件）が人類を皆殺しにするとはっきり言っている。アル・リビック氏がアインシュタインとテスラーと一緒に海軍の研究所で働いて、未来を観て来たら、ＡＩがコントロールして、人間はアリのように巣の中から出られずに、ロボットが人の生命を決定してしまうと。悪魔サイエンスフィクションが未来において発生するのです。アシモフ氏の提唱は全く、その通り正しい事に成ります。

そこには法！（ダンマ）もない。愛！もない。ただ生きたロボット（クローン人間：家族も恋もなし）。チップスを今（体内に）入れようとしているとか。だから、勉強しなくても良いわけですよ。チップス、ポンと入れて何でも解答できるから。ただその解答は正解の解答じゃないですよ。誰かが作ったインフォメーションであって。学者様が間違って、これ（般若心経）を否定するような解答があるかもしれない。

千年持たないでしょうね。千年持たない。完全に崩壊します。この宇宙の基礎は因縁の塊で、未だにＤＮＡがどうなっているのか解らない。ジャンクＤＮＡと言われたのが、これが決定してありとあらゆる変化を起こすという事が今分かり、始めたのですよ。最初の出初めはちょっと分かったら、全部分かったと狂ってしまうのですね。６０年前、原子力発電も全て完全に理解出来て、人

類の最高の叡智の発明と、学校でも社会でも、政府も大いに宣伝していました。

今は注射して光が出て光当てて、ガンが皆消えるとか、そりゃ、素晴らしいけれど。本当にそうなの？（莫大な治療費を払わせられるのでしょうね。）今、皆病院で苦しんでいるのに？宣伝して安心感与えるのだけれど、そうなれば病院も何もなくなります。注射して、はい、光、全部全快（完全なる空想科学社会の実現）。そう簡単なものじゃないと思う。外宇宙的生命体の臭いがします。

私達は因縁の塊で。ちょっとした因縁を変えるのに、凄かったでしょう？大阪で。説明したでしょう？たった少しの因縁を変えるのに、凄い絡まりを説明したわけです。ところがあなた方は法話会に来て聞いているから理解してくれるけれど、これを聞かない一般の人は、私を変人と思いますよ。

何故かと言ったら、「色即是空はあるけど空即是色はない」という世界だもの。じゃ、私が完全に狂っているという事。そういう方が非常に高い位置にあって、何千人もお話しを聞きに行くと、肩書を信じて、実際の修行は余りせずに。

私が事細かに因縁の繋がりを説明して納得行くと。納得行かなければ大変な事になります。たった一つの因縁。私達の因縁の絡まりは凄いもので、こうして法話会に来ている因縁というのは凄い事なのですよ。それが見えないから、日常的な事だと思うけれど。今言っている事を（理解している）、人が日本に誰かおられたら、その人を探して、徹底的に勉強された方が良いと思います。もし、おられたら。私は分からない。そういう人が存在するかどうかも。

カクサンダー・コーナガマ・カシャパ・ゴータマ　仏陀様方、　スリランカ

質疑応答

ニミッタ・禅相の教えは体感した先生からでないと道を間違える

【参加者】

坐禅をしている時に、半眼でしているのですが、段々と焦点がぼやけて来たときに、時々オーラのような光が出たり消えたりします。基本的にはそういうのはほっといておくスタンスで良いのでしょうか？

【水源師】

正解です。焦点を合わせるのではないのです。ただそこをオブザベーション、目の位置にして、焦点を合わせるのではないのです。焦点が合わなくなってとか、それが正解。心が知っているから。

その時にね、息と心が混ざって光が出ます。それはニミッタの最初の一歩の現象です。禅相（月輪）といいます。禅の相。沢山のお坊さんがここに光を出し始めたり。その使い方を後でしっかりしなければ、それはそれで消滅します。

ただ考えずに、深く、深く、入っていけば静寂の世界に入って行きますから。そういう体験も出来ます。そこからどこに行くかという事はやっぱり、禅を教えている先生に聞かないといけないですね。それも体得した先生ですね。理論派とか学問をして知っていだけではなく、本当に体感した先生でなければ道を間違えます。もし先生が理論と学問と体感された偉大な方であれば、此の世での最高の栄華を頂ける、チャンスが有ります。

【参加者】

「ほっておきなさい」と言われる方もおられますが、具体的に「この次はこう」と…

【水源師】

私の場合は、その前に道を示されておりますから。そういう現象は起きずに、直接ニミッタが発生しましたけれど。そこには行かないで、チッタヌパッサナーでずっと続けて。その後パオに行ったから、すぐにニミッタが発生して。今度はこっちの方向に進むと。

偉大なる先生に出会っているから、間違いなく行ったけれど。最終的に公案を「はい、これ」と。それを只々とやって行くから次の世界に入って行きます。

そういう先生に出会えれば良いけど、普通は中々出会えないですね。座に座っているから法を持っているという事ではないのです。そこの問題ですね。そ

の偉い方々を善知識と言います。人を指導できる、瞑想を指導できる方、法を持った方。もし出会っても、基礎力が無い方は、偉大なる先生を目の前にしても、ただの普通のお坊さんとしか観えないと思います。

今の私達の瞑想会では 7 人の方がもう、法を持っています。人へ教えられます。凄い事なのですよ。肩書きがなくても法を持っているから本物です。肩書きが有っても法を持っていなければ、ただ椅子に座っているだけで意味無いですね。ただ間違った教えは受けないように。

受随観を続けて出来ない場合、丹田禅で力をつける

【参加者】

受随観で三回観なさいということですが、三回持ちません。

【水源師】

丹田瞑想に戻ってください。徹底的にそれをやってください。禅法が良いです。座禅。半眼でちょっと眼を開けて。鼻から吸ってゆっくり口から出します。その吸い方は、呼息を１としたら吐息は２。これは正確に守らなくても良いです。深く入っていけば、１時間で大体６０回になります。１分で１呼吸。知らず知らずに。数えて行けば。数速観でやるのが一番やり易いです。丹田呼吸と言って第二チャクラに力を入れます。そこは非常に難しいから、腹式呼吸の方だけで大丈夫。

【参加者】

それをしっかりやると。

【水源師】

そうです。力がつけば、三回、四回、十回でも行けます。来年まではそれでやって。阿弥陀の国行くのだから心配しないで。どうせあちらに行ってもその修行をするのだから（笑）。今ここでしっかりやっとけば、後で楽になります。

全く修行をしていないという事

【参加者】

禅の先生も良い事言っているなと思ったら、輪廻転生を否定するような方もいて、油断ならないなと。

【水源師】
恐ろしい事。全然修行してないで、頭で考える修行をして居るようですね。

【参加者】
言っていることは結構良い事を言っているのですけど、油断がならない。

【水源師】
全く修行をしていないという事を言っていますよ。言葉遊びはしているけど。一般の人は分からないからそこへ行くのでしょうね。「良い事言っている」と。「でも、ちょっとおかしい」と。合宿に来られたので、それ（アスバヌサティ）を一年間やってください。凄く進化して行きますから。

天界のお告げにより、アフガニスタンへ

【参加者】
六月の報告会に伺いたいのですが。

【事務局】
アフガニスタンの報告会。

【参加者】
どういった話をされるのでしょうか？

【水源師】
そこに行ってみないと分からない。(笑)。実は日本で、これでお終いにしようかと思ったけど。重大なメッセージを受けるみたいで。六月三日に来て何を話すか分かりません。天界のお告げだから。二日待ってすぐ飛んで行きます。

【参加者】
大変ですね。

【水源師】
大変ですよ。この歳で。どうなるのか知らないけど。アフガニスタンからカナダに帰って今度はアフリカでしょ。アフリカからトルコでしょ。トルコから帰ってまた南米でしょ。ぐるぐると、何かもう、日本であるじゃないですか？神がかりになれば夜中毎日走らされると。

文殊菩薩様

なぜか知らないけれど、文殊菩薩様に出会って激しく動かされて。一度は伺った方が良いですよ。凄い所ですよ、五台山。お土産もらいます。

行かないで、ただここでじっと本を読んでいたら変な事になります。弘法大師様も「肉（大地）の厚みを知りなさい」と、「大海の大きさを知りなさい」と、「法を求めなさい」と。出家在家関係なしと、星雲大師様は言われています。全て高徳な方は同じ事を言っています。

【参加者】

あの文殊菩薩様の写真は誰でも入れる場所で撮られたのですか？

【水源師】

そうです。だけど、写真は撮らせない。駄目です。何故かと言ったら、何故か私が深々とおじぎをして、お坊さんが私を案内してくれたのです。「中に来て下さい」と。すごく感激して、「この写真撮っていいですか？」「はい」と。真っ暗なのです。本当はこんなに撮れないはずなのに。で、撮って。中国の人が撮ろうとしたら、「あなたは駄目です」と。「この外国人は OK で、何故中国人の私が駄目なのか！」とカンカンに怒って。そういうものです。お坊さん同士は。これは 1950 年台に撮られた写真で、カラーがない時代。色が付いているのです。

【事務局】

本当はベージュ色をしています。携帯から引き出したのでブルーになってしまっていますが。

【水源師】

本当に凄いのですよ。そこには「善財堂」と書いてある。善財童子と関係があります。だから、ここに行けば「福をもらう、財をもらう」と中国では大人気で。一生に一回は伺いたいという場所なのです。

【参加者】

そのお堂には写真だけがあるのですか？

【水源師】

いや。ちゃんと像も皆あります。ここの横に撮られた写真が入っている。文

殊菩薩様は韓国の通度寺と非常に深い関係があって。その昔、韓国の禅僧が五台山を訪ねて行った時に、文殊菩薩様が現れて、右の薬指だったかな？これをポッと取って「これを持って行きなさい」と。それが百個の舎利になっているみたいです。通度寺の山に隠してあります。

「私がその後、訪ねて行くから」と。で、文殊菩薩様が可愛い猫を連れた女の子になって、「和尚さんいますか？」と。和尚さんは「いつ文殊菩薩様は来られるのだろう？」と。長々と待っていて、凄い菩薩様が来るのだろうと思っていたら、可愛い女の子が猫ちゃん連れて「和尚さんに会いたいのですけれど」って言ったけど、門番のお坊さんが「お前、帰れ」と。そしたら、猫がライオンになってポーンッと飛び乗って風のごく去ったそうです。「あら。文殊菩薩様だー！」ということで報告したら、その和尚さんは「いやー！失敗した！」と追いかけたという話があります（笑)。

【司会者】

文殊菩薩様は獅子に乗ってらっしゃいますよね？

【水源師】

そうそう。百の指の舎利は今でもあるみたい。通度寺。二千年の名刹です。

五台山　中華のお寺で　、中国

お釈迦様が生きていた時代に建てられたお寺の遺跡・カブール

【参加者】

アフガニスタンのどちらに行かれるのですか？

【水源師】

カブール。カブールに 2,600 年前に出来たお寺と。お釈迦様が生きていた当時に出来たお寺ということで。そのお寺は青銅時代の上に建てられたと。鉄器時代じゃないのです。鉄器は 2,200 年前かそこらだから。2,600 年前は青銅時代なのです。その上に建てられたお寺というから。「2,600 年前だろう」と現地の学者が言っています。

【参加者】

イスラムに破壊されないまま残っているのですか？

【水源師】
それが 1960 年代にフランスの学者が発掘したけど、隠していたわけです。だからはっきり分からなかった。埋められて居たようです。西洋の人が、「そこに凄い銅が埋まっている」ということで、新聞にも出ました。「権利を買いたい」と。

アフガニスタン政府は競売にかけたわけです。そしたら、2,300 億円で発掘権を中国が取ったのです。掘ったら仏像がいっぱい出てきたわけです。「こりゃ、すごい！」と。ところが西洋のフランスの方は 1960 年代に知っていたわけです。

そしたら、競売になって「中国は競売にこれだけお金出さないだろう」ということで。ところが、中国が競売のセリに勝ったわけです。掘ったら仏像が沢山、出てきた。「ウワー！これは当たった！」ということで。そこは未だに発掘はしていない。鉱山も開けない。ただ兵隊が守っている。そこの現場は。何故か。

西洋としてはそこを黙って獲りたかった様です、というのはギリシャの哲学とフランスの哲学の元祖様がそこに行ったということが分かっているからです。世界の動きは凄いですよ！

「大地を駆け巡り地の厚さを知り、大海を知って法を求めよ」

【水源師】
だから、歴史もしっかり知らなきゃいけないし、現場も見なきゃいけないし。経典とか本だけではとんでもない話で、後追いの情報だから検証して現場へ行って確かめなければいけないでしょう。だから、弘法大師様が何度も「大地を駆け巡り地の厚さを知り、大海を知って法を求めよ」と。千年経っても真面目に、修行しての現地見分をしないで、発掘考古学者様におまかせしていますね。

さっき言った慈経に書かれております。ここが非常に大切な、ウパダナからマラサラナンの事だからと。最低限でも説明しなければいけないのに「何も無い」なんて言ったら、恐ろしい所に行きますよ。

本当にいるのですね。魔がいっぱい。間違ってもそういう事を言っちゃ駄目ですね。又教える立場でもないですね。はっきり言って止めたほうがいいこの方は、どこに吹っ飛ぶか分からないですよ。ミャンマーに行って法随観修めてきたほうが、まだ人を助けますね。でなければ、マハーシのカーヤヌパッサナーでもいいから、全然、勉強（修行）しないのですね。私もびっくり。本当にびっくりでも、朝から晩まで皆本を読んでいるようですね。何を基本にして読んでいるか分からないけど。この方のばわいは、ババナ（瞑想）が必修条件です。お釈迦様は明快に、ババナを取得してダンマチャリア（法を説く先生）を

行事なさいと言われました。

間違った教えを鵜呑みにせず、仏に心から帰依しなければ

【参加者】

テーラワーダのお坊さんと話した時に、修行が進めば怒りが消えると。

【水源師】

それはね、アラハトのこと。そこに行くには、アラハトがいるのかどうか分からない存在。ただそれをね、怒らないように、怒らないようにという修行は当然しなきゃいけないし。怒りが消えるということではないですね。その人は誰ですか？

【参加者】

Ｓさんのお弟子さんだったと思います。

【水源師】

でもＳさん、間違っているよ（笑）。あなた信じていますね。間違った人のまたお弟子さんのまた間違った教えを受けてしまっているから。これが現状なのですよ。でも私は皆さんにこうして、十年来、来て。沢山御褒美もらっていますね。それに救われていますけれど。

ま、達磨大師様も、慧可というたった一人のお弟子さん残していったのだから。それだけ厳しいのだけれど、皆さん良くここまで来られて。短い間に。本当に私は、そういうものは相手にしたくないのだけれど、あまりね、頭使わないでね。

どうせ本読んだってデタラメだし、体験しなければ意味無いですよ。心から仏に帰依していなければ座禅は出来ません。心から帰依するという心がなければ、幾ら本読んでも無駄。しない方が良いくらい。

間違った教えを受けて、変な所へ行ったらどうします？あやふやになって。今は修行を極める方が非常に大切な時ですよ。

まず、徹底的に帰依する事ですね。帰依するということは在家で十分。お寺参りして頭下げて、あちこちに良いお寺にはお布施いっぱいして、やっぱり福が来ます。

スリランカでは仏牙歯のお寺には五千人のお坊さんがいるのですよ。そこに布施出来れば、満月の日に出来れば、天界に生まれるという条件だから、五千人のお坊さんに最高の食料を作って、朝昼二回捧げます。莫大なお金ですよ。

でも、「宝くじ当たった！」というくらい有り難さが分かるわけ。パオでも私が「朝昼、千六百人の比丘に食事を捧げるから」と。私は比丘だからできないから、家族の名前で。そういうことをやっているから、修行がスーッと行ったと思うのです、それにクッテイも納める有り難い事が出来ました。

ただ座って行くわけない。ただ若い人はお金がないからね、命を賭けてじっと座って、中には修行が成功します。ただ座って、日本は天国みたいなものですからね、畳はあるし、湿気はないし、ただ、道場はない、先生には出会えない。悲惨なものですね。そういう所から見たら、ミャンマーの方がまだ得。今、スリランカでもいないのですよ。法を教える人が。だから第一禅定に入ったらすぐミャンマーに送ります。それくらい難しいのです。そのＳさんはどこの出身ですか？

【参加者】

スリランカ

【水源師】

そうでしょう？良く考えてね。頭を使わないで。それが最大の毒ですね。まずそれを捨てる事。

体験者＝法を持つ方の話は滅多に聞く事が出来ない

【参加者】

水源先生の法話集も読まないほうが良いのですか？

【水源師】

読まないで成功したらそれは最高ですよ。それは道しるべで、私の体験から出た話です。私の作った話じゃない。体験から。そういう方が出ればどんどん読めばいいし。でも、そういう体験から出た話というのは滅多に聞くことはできないですね。逆に古い方の経典がありますけど。それを読めれば良いけれど。読めなかったでしょ？

【参加者】

はい。

【司会者】
水源一乗禅の会では、先生のお話をお聞きした後、テープ起こしを分担して、必ず法話集にしています。法を持たれている方というのは本当にいらっしゃらないのです。法を持たれて体験をされている方のお話だから、エカヤーナヴィハーラでは無料で載せています。忙しい人やここになかなか来られない人がせめて、入口というか本当の事を知って欲しいという事で、法話集を出しています。お時間があったら全部、読まれたら良いかと思います。

これからの日本は安泰か？破滅か？未来は変えられる

【参加者】
先生は、合宿では「日本は安泰だ」と。昨日は「経済がひっくり返る」と。今日は「AI が人類を支配する」と。矛盾しているように感じるのです。

【水源師】
そうですね。完全に矛盾していますね（笑）。安泰というのは、富士山は爆発しません。安泰でしょう？でも経済はこれから世界の波でひっくり返るから。世界経済までは私に責任はないです（笑）。
あと AI。AI はアメリカで作っているでしょう？アメリカを潰すわけには行きません。世界は大戦争になります。
だから、AI の下に日本がいるから。スージー（ソフィア）さんが「人類を滅ぼす」と。ただし、未来は変えられます。このまま行けばそうなります。今言ったように。でもちょっと、酷い話だね。私もびっくり。ここまで落ち込んだと思わなかった。
そのＳさんというのは非常に有名で、それを信じて修行していたら…これは恐ろしい事じゃないの？今、南伝の極意の所をチョチョチョッと説明したけれど。名前だけで行くのは止めてくださいね。ほんと恐ろしい事になりますよ。自分でしっかり座って。何年くらいで座られているのですか？

【参加者】
まだ一年も経っていません。

【水源師】
そうですか。頭でっかちだから、それは止めなさい。私も四十年只座って、話す気もなかったけど、なんかこう言われて話しているだけで。まずまず、合宿に来たから、その手法は教えます。

只只座る事。特に、八十才になってマレーシアに行ってずっとそこで座っている方もいますからね。十年。九十才ですよ。特に年をとってこれから始めるという方は、それくらいの覚悟を持ってやられたら、大変なご褒美が来ます。あなたも頑張って。良く座られますね。顔色も良くなって。前は寝なきてはできなかった（臥禅）のが、今はずっと座って。楽しいですか？

【参加者】
何となく。フワーッと行っている感じで。

【水源師】
そうでしょう？やっぱり、頑張るということが大切で。心から帰依していれば、そうなりますよ。じゃなければ、ならない。ま、そういう事ですよ。

三十二分身瞑想と不浄観瞑想

【参加者】
アスバの前に、三十二分身。パーツごとに分けて観る時は、じっと観て行くのですか？

【水源師】
ちゃんとイメージして、出て来たら OK。一遍にしません。今日五つしたら、次の日五つ。

【参加者】
五つごと？

【水源師】
目分量でやるのは駄目です。最高一日に五つ。で、次の日は十。次の日は十五、二十、二十五、三十、三十二。最後は七つやってもいいですから。時間がかかります。最初五つ観るでしょ？しっかりと。次の日は五つにプラスまた五つ。

【参加者】
プラスするのですね。

【水源師】
そうです。その次はまたプラスして十五。身体の中はニミッタとジャーナがなければ観ることができないので、写真とかそういうものでイメージをしっかりして、自分の体を体感して行くと。それが終わったらアスバヌサティ（不浄観）。

【参加者】
どれくらいやれば良いのですか？

【水源師】
しっかりやれば、それでおしまい。「自分で体感したな」と思った時。ま、一ヶ月くらいやってみて。急がないこと。まずは身体の毒を消さないといけないから。アスバヌサティは 2 ヶ月～3 か月、徹底的に。一年でもやればもっとよろしいけど、そうしたら完全に骨の毒が消えるはずだけど。それを確かめる為にスケルトン瞑想を最後にもう一回、確認の為にして下さい。

日本のお寺には法が残っていない

【参加者】
最近、日本の奈良の薬師寺の管長が問題を起こしたとか？週刊誌に。

【水源師】
御年は幾つ？

【参加者】
七十二歳。

【水源師】
私と一緒。前の管長さんを知っていますよ。カナダに来て、ま、遊びに来て下さいと。

【参加者】
そういう様なことがあったりとか。先ほどのお話でも、実際に千二百年経ってもやっていないこと。確かにそうだと思うのですが、弘法大師様が教えたお弟子さんの中に誰か法を受け取った人がいてもおかしくないと思うのですが。

【水源師】
本当にそう思うのですよ。何故かといったら、法を持てばこれが分かるでしょう？完全に論破できるでしょう？「四句般若の修行」と。サティパターナと言っている。

【参加者】
弘法大師様の様な法を伝える力でも、法が途切れてしまう。

【水源師】
というのは問題があるのです。結局、今の日本のシステムでは道場もないし、サポーターもないでしょう？私が教えるにしたって、最低一、二年かかるか、五年かかるか。その人の力量によるし、サポートしなければいけないでしょう？
ただ私が来られるのは、二ミッタの出し方で。自分で持続して下さいと。ただし、（二ミッタを）一時間持続できれば過去生と未来を観せる法を示します。実際、カナダで一人、日本で一人。Ｃさんがちゃんと観て。その繋がりによって進化がずーっと上がって行きます。
法随観を持てば、そういうふうに指導が出来るわけです。それを未だに、「パオに行ってやった」と。何もしていないでしょう？ま、分からないですね。
私は法を持ったから、言わないけれど。なぜ教えてやらないのか？と。当然しなきゃいけないし。法随観を持った人は当然Ｓさんの間違いを指摘しなければいけないし、そこの所を言っています。勉強というのは、本当の法を解説しなければいけないし、論破しなければいけないし。本当に観たのかどうか？文字遊びで、メモリーでアビダンマを言えるかもしれないけれど。私が「ここ観たの？」と言って、解答してくれたら、正解だけれど。
ちょっと本読んだからって、デタラメも甚だしい。全部書き写し。だって、これ書き写しています。お釈迦様の究極の教えを否定しているからです。仏陀の教えに合っていないです。
ところが、誰も明快に説明出来ない、していない。そこが大問題で、日本にはいないという事なのでしょうか？朝から晩までなんとか禅と。どこそこの和尚さんと宣伝はするでしょう？「そこに行けば法を得られる」みたいな面白い事言っているけれど、こういう事も明快に説明できなければ、次の世どこに吹っ飛ぶか分からないですよ。弘法大師様は暗きより暗きに入る（地獄へまっしぐら）と言われております。

仏教とは、自分が進化して天界以上の力を持てる凄い事

知ったと思いながら信じ切って。仏教は信仰ではあるけれども、それ以上の、自分が進化して天界と同じ力かそれ以上の力を持つ事になります（お釈迦様は天界と人々の先生とお経に載ってます)。本当に。信じられないでしょうけど本当にそうなのです。だから凄い事なのです。でなければ神の下で永遠に抜け出られません。涅槃にも行けません。神の下だから。

神に作られて神の中で生きている。これも作り上げられた理論であって、実際にそういう方はいません。

地球の歴史過程の真実、神の正体・深く研鑽しなければ

【水源師】

過去の経典では。ただ、エボノナイト、マルシンナイト、ノースグッド、プロトオーソドックス、オーソドックス、カソリズム、プロテスタント…法を変えていって人間が作った経典だから。

その原本はスメリアカルチャーのニップールタブレット。ニッパーというのはバグダッドの北の方にある町です。そこから出た経典にちゃんと書かれている。他の経典にもまた、バイド（バクダットの南の町）から出たタブレットという経典にも凄い事がいっぱい書かれているけれども。その中の二万あるタブレットの１パーセントしか訳していないと言っています。

ところがオックスフォード大学が、（インターネットで調べられます。）英文だけど、全部解析し始めました。解析した中を読めば、神という名前はエンキとなります。「キ」というのは地球。

前にも説明したけど。「エン」というのは地球を統率するというタイトルです。この方は二ビルという星から来たと。そこには書かれている。

だから、ムハディジュン（ムジャーヒディーン:mujahidin）という言葉あるでしょ？テロリストとかアフガニスタンで。ロシアと戦って。ヒディン（hidin）＝エデン（Eden)、E（hi）というのは家。Den(din)というのは神。Den(din)の原型はロケット。

からヤハウェ（Yahweh）＝エホバ(Jehova)という意味は発射。だからロケット。エジプトのテーベのクリエイター／アメン・ラ―がアーメンとなったのは、そこを今度はロケットから神にしたのです。

ところが、セオロジスト(宗教学)とか宗教家はそれを無視。でも、そこを本当に勉強したかったら、西洋では文献を出しますから、そこを繋いで読んでいかなければならないけないと思います。キャピタルヒルってあるでしょう？

キャピタルというのはお金なのですよ。キャピタルヒルというのはお金を扱う場所なのです。アメリカではキャピタルヒルというのは国会議事堂でしょ。コングレス（国会議事堂）＝キャピタルヒル。キャピタル・ヒルというのはローマの丘にあるわけです。神殿の下に。お金を扱う所。という意味。アメリカではキャピタルヒルという名前で、本当はお金を扱う所という意味です。

だから日本ではボーイスカウトとかいっぱい流行っているでしょう？あれはね、ローマでは非常に大切なシャファーという二つの巻物があります。だから槍にクルクルと巻いているでしょ。二つあります。日本ボーイスカウトとか何とか。あれはアメリカのソーシャリズムのシステムの、シャファー、ローマ帝国の一員の印なのです。

だからアメリカの国会議事堂にはシャファー二つがあります。ジャーマンも付けています。という所まで政治学者とか宗教学者は知る必要があります。その上に則って宗教を説明、深く研鑽してしかなければ、世の人々は迷うでしょう。

だからよく考えて勉強して下さいと。文献を読んで。そういう意味での勉強はして下さい。ただ丸暗記はダメです。実際に自分で体験しながら、これがどういう文献か研鑽しての事であって、それにはしっかりと瞑想しなければ意味なしません。分かりました？という事もある程度知っておかなければやっぱりズレますよ。人を導いて行く時に。責任がありますからね。私が言った言葉が、もし間違って、方向に受け取って進んだら、私の因果が来ますから。

出来るだけ正確に教えています。この地球の歴史過程と文献と私の体験とお釈迦様が言われた事を、サティパターナは完全にお釈迦さまもやられた行という事を体験したから言っております。体験しないでただ私は言いたくないです。責任が出て来ますから。ま、そういう事で良いですか？

夢の中の自分を観る

【参加者】

寝ている時に、夢の中でどうやって瞑想したら良いですか？

【水源師】

夢の中に入っているのは分かるの？

【参加者】

はい。結構よくあります。

【水源師】
夢の中はどこから見た夢？

【参加者】
それはよく分からないです。

【水源師】
それ探しなさい。

【参加者】
はい。

阿弥陀の国は宇宙で最高の場所

【参加者】
阿弥陀の国はどんな所ですか？

【水源師】
天国よりも良い所。宇宙で最高の場所。

法を持つ人に失礼な事をすると大変な因果を作る

【参加者】
ナモタッサー・バガワトー・アラハト…はどういう意味ですか？

【水源師】
ペティカブッダ（独覚仏）は沢山出ますけど、サンマサンブッダ[（正覚仏）：Thasagata、(Tatha；大宇宙の幽玄の空、仏道を、 Gata:完全に体得された方）Bhagavat:偉大なる尊き方 Arahato:最高の悟りに達した聖者）]は菩薩行を無量の時間を通して、それを全部到達いたして、強烈無比の苦労して、人に教える為に、あらゆる人に教えられるように、時空を経て修行をした方だから、本当に宇宙の宝物。

仏に会えば、会えるだけで凄い幸運をもらったと。ところが、デバダッタみたいに仏を殺そうという人間もいるのだから。敵対するという人も。ある和尚

さんがヤキモチ焼いて、アラハトになるような方に、大金持ちがダーナで呼んだのに、行かせないようにして。

その後、この人が生まれる度に霊界に生まれたり、凄い苦労をして。一年に一回ご飯をちょっと食べられれば良いと。そういう事で、今度お坊さんになっても、いつも最後の少しの食料をもらえるけれど、ほとんど食べられないと。なぜか一杯入れても、お箸から消えてしまうと。

という風に法を持った方に失礼をすると大変な事になります。訳も分からずに、立派なお坊さんに対して「あーじゃない、こーじゃない」と言ったら、その因果の関係は恐ろしい事になりますよ。皆さんはよくよく気を付けて。ただただ修行して行けば問題ないのですから。

修行して行けばそういう事もないし。素直に生きて行きますから。最後、アラハトのシャーリプトラさんの弟子だったと思う。その時に、大金持ちにお願いして。十二時前に前に食べさせなければ、規律があるから。急いで呼んで、作ってもらって持って行ったけれど、その人が食べようとしたら全部消えてしまう。仕方がないから。シャーリプトラさんが手で口に持っていってあげる。

というのは、この人が食べないで死んでいったら、地球における因果が強烈なものになるわけです。

だから、ボディダルマさんが、昔話したけれど、中国で皆に馬鹿にされながら、ある高僧の所へ行ったら、高僧が怒って歯を折ったわけです。バーンっと。鉄の数珠で。そしたら、すぐ直接地獄へ落ちてしまった。

「生死を超えた方に、なぜそんな事をしたのか？」地獄の裁判官が聞いたら、そういう人がいたら「ちょっと！今、命を獲るのは待ってください。」その人に謝って「法を聞きたい。」と。「そうか。じゃあ、行きなさい。」と。

で、行った。そして、ボディダルマ様はその歯を吐き出さなかった。吐いたら何百万という人が死んでしまうからです。そういう凄い方なのです。大師様を追いかけて、達磨大師様は九年間岩の中で座っていたわけです。まさか、そんな事は出来るわけがないと思っていたのだけれど。

法随観をやっていたらね、心＝チッタから食料が出て来るわけですよ。昨日も皆さんと一所懸命座ったから。夕方食べられないのですよ。お腹空かない。本当に食べられない。

少林寺に行けば、行って見られたら良いと思いますけど、その洞窟は高い山にあります。二時間かけなければ上がれないのですよ。水もないし。そういう洞窟で九年間座っていたわけですね。

そこに入った場には、凄い空間で。比丘尼様が座らせてくれましてね。強烈な異空間、凄かったです。そういう事で、その歯を折ったのは慧可さんなので

す。その人がお話すれば、天界から花が降ってきて、もう最高のお坊さんだと慧可さん自身も思っていたし。

菩提達磨大師様がその方に「その経典の間には何を書いてあるか説明してくださいと聞きましたら」と怒って無謀な事をやったわけです。で、そういう事になって。

菩提達磨大師は九年間座っていたけれど、その方は膝まずいて、こうして、九年間（側で）膝立で。「なんで膝立でいるの？」「実は、教えを請いたいから、ずっと待っています。」と。「じゃ、この白い雪に赤い花を咲かせてみなさい。」と。

で、刀を持ってバッ！と右腕を切って出したわけ。そうしなければ、この方はもう因果関係ですぐ死んでしまう、ちっちゃい因縁でもあれくらい凄かったでしょ？そういう因縁は大変な因縁になるでしょう？

でも結局、百七才で正法を伝えようとしたけれど、お寺の前で説法され時に刃切されて、涅槃へいかれました。でも、法はもう伝えてあるから。阿羅漢様でも因縁の果を受けます。

アングリマーラといって 999 人殺した方がいるでしょう？お釈迦様が救ったけど。この方も最後、アラハトになったけれど、石を投げられて殺されたと。結局、ボディダルマの歯を折ったと、これは大変な事なわけです。右腕を切っても済まないわけです。法を守る為に、正論をお寺の前で説いていたのです。

その時、経典仏教ばっかりだったらしい。経典仏教、経典仏教で。正法が初めて達磨大師様によって中国へ伝わったわけですね。チッタヌパッサナー。

それで、慧可様が最後百七才で切られて殺されたのです。「このクソ坊主」と言われて。切った人も大変ですね。そのお寺も大変だし。どうなったか…。

その昔中国で大飢饉があったわけです。一つのお寺は裕福なわけです。何時でもお米があって。もう一つのお寺は布施が来なくて、全部のお坊さんが死んでしまった。

法を持っている所には、そういうふうな不可思議な事が発生するわけですね。ぞういう文献がいっぱいあります。

帰依の心、誠の心無くして仏教はない、仏教は命をかけて学ぶもの

【水源師】

中国でも韓国でも「どこに（法を持った）お坊様がいるか？」と血眼で捜し周るのだけれど、なかなか出会えないし。また、教えを受けるにしても、そういう力がなければね、無理なのです。

お寺も小さいし、人を食べさせる場所もないし。やっとのわけですよ。その昔、ソラ山という韓国では今でも有名な修行山があるわけですね、そこでお坊さんが五つになる子供を引き取って山に連れて行ったわけですよ。

ところが、冬だから、雪が積もって食料もないし。「じゃ、お前ここで待っていろ」と降りて行って。しかし、雪が降って食料を沢山お布施で頂いても、山に上がれないわけです。それが三カ月くらい経つでしょ。百日くらい。「いやーどうしているかな？」と雪が溶け、上がって行ったら、もちろんその子は死んでいた。

でも、死ぬときにね、観音様を彫っていたのですよ。凄い事ですよ。本当に。涙が出ますね。仏教とはそういうところなのです。

ま、そういう事で、私がその山で、観音様から海印海潮音禅を教わったわけです。ただ教わったわけではないのです。帰依の心、誠の心無くして仏教は無いです。仏教は遊びじゃないのです。命を賭けて学ぶものなのです。一生に一回あるかないかの一大事。だから、五つの子供でさえ、観音様を彫って死んでいくのです。未だに私はそこに及ばない。凄い事なのです。

観音様もホータンの国の御姫様・妙善(アフガニスタン、のホータン地方で中国寄りの南)で生まれて、大変な苦労をして仏教へ帰依して、補陀落山の観音様になられたわけですね。ストーリーじゃないのです。大変な、大変なものを告げようという菩薩行ですね。それは、ただただお釈迦様に帰依して出来る事であって、お釈迦様に帰依しないで出来るわけがない。さっきは笑っていたけれど、涙が出ますね。

【司会者】

だから、ジャーカタ物語はとっても尊いのですね。

本当の法を求めるのはそれだけ難しい、宇宙の奇跡

【水源師】

そうですよ。凄いお話ですよ。ただのストーリーじゃないのです。だから、こうして皆さんが努力して。Ｐさんの息子さんに「一生に一回しかないのだから、今ここで徹夜してでもやりなさい」と言ったら、やり遂げた。

というのは正確に教えられていなかったのです。受随観。「もう少しで完成するから」と。「明日帰るので時間ないです」「いや、徹夜して、寝なくてもいいからやりなさい」と。そしたら、やり遂げました。

だから、法を求めるということは、それだけの御褒美も来るし。この悪世から出る事も出来るわけです。でなければ、永遠にもう、くるくるくるくると風に吹かれる楓の風車種の様に、暗い所に落ちて行きますよ。

だから、皆さんが一生懸命真面目にやろうとしても、そう簡単に勉強させない。魔がありとあらゆる手を尽くして間違った法を教えるわけです。

だから未だに、ゴータマカという手法でありとあらゆる所にあるわけです。お釈迦様を語らないで、勝手にいろんな仏を捧げたりとか。

やっぱり基本を外してやれば、とんでもない所に行きます。いくら、宣伝して１千万おろうが１億おろうが、全部暗き所へ行ってしまう。

面白い事に、ジョン・ポール・セカンド(ヨハネ・パウロ二世)法王様が「皆さん、本当に心を入れて修行をしてください」と。「地獄が大きい口を開けて待っています」と。同じ事を言っておられます。行をする人は見えるわけですね。

キリスト教であろうが何の宗教であろうが、発生した時空は言われた通りじゃなくても、真面目に修行されているセント・テレジア様とか、聖者がいっぱい出て来るわけです。

それはそれなりに、苦労をしながら凄い所に行っています。そういう事で、本当の法を求めるというのは、それくらい難しい。奇跡な事なのです。この宇宙では。命を投げ捨ててもいいから、法を求める事をこの世でされたら、どれくらいの栄光をもらうだろうか。だから、八十歳になろうが、日本の方がマレーシアに行ってそのまま十年座っていますよ。ということは分かったわけですね。このまま死んで行っても良いと。途轍もない御褒美が来るわけです。九十になっても座ると。私、七十でも辛いのに（笑)。凄い事です。ま、そういう事で、良いですか？

水源禅師法話集 96

（2018 年 5 月 20 日　東京法話会 2 日目）

2019 年 2 月 17 日発行

編集兼発行　一乗禅の会